

# 軽井沢の冬支度

## 軽井沢の生活

軽井沢には、夏から秋にかけて月のうち 20 日程滞在します。  
先日も、同級生の井口国雄君(龍野高校 10 回生)から、『自宅の方に郵便物を送付したが返事が無いので、電話しました。お変わりありませんか?』・・・と。東京は、仕事のみが現況です。

## 充実した日々

特に、今回は加齢にも関わらず疲れを覚えず毎日が楽しく、1 日が直ぐ終わってしまいます。庭作業の万歩計は、7000~8000 歩(約 6 km)/日を示しています。

と言いますのは、昨年は 1 年目の造園でしたから、庭の手入れは草引きだけでした。今年は、昨年花の咲いた後、放置したままにしていたので、種がこぼれ実生が発芽して、ムダな草引き作業が増えました。ですから、今年は花が咲き終わってからの花摘みが増えました。

## 宿根草の刈り取り

春から夏にかけて、下写真の如く庭全体が緑一面でした。今年も昨年に続き、宿根草を土スレスレに刈り込みました。昨年は、業者の手で 3 人/日×2 日=6 人工でしたが、今年はギボシ、エンレイソウ、オダマキ、野菊、九輪草など花摘み時に茎の根本から刈り込んでいたために、業者 1 人/日×1 日=1 人工となり、日頃の刈り込み効果が検挙に表れました。



夏/玄関に通ずる庭



春/山野草の庭



宿根草の刈り込み

## 落葉の除去

宿根草の刈り込みと並行して、落葉をエアブロアーで吹き飛ばし、トラック 1 台分除去しました。



ブロアーで落葉除去



落葉集め



落葉運び

ところが、宿根草を刈り込み、落葉を除去すると庭が一遍して土が現れました(夏に、羊の毛を刈り取り肌が見えるのと同じ現象です)。写真の一部分に緑が見えるのは、クリスマスローズと勿忘草です。

来春は、刈り込んだ宿根草に新芽をふき緑一面になり、どのような庭になるかが今から楽しみです。



玄関から見た庭



デッキから見た山野草の庭



家屋を見た山野草の庭

一方、高山植物は礼文島の珍種を初め、コマグサ、ゴゼンタチバナ、シャジンなど 100 株程注文しましたので、来春届きます。既に、土質改良した床で首を長くして待っています。

また、珍種神領ユリ、育てにくい関西以西のササユリ、高山植物のクロユリ、猪苗代のヒメサユリ(別名オトメユリ)など大好きな球根を寒い冬から守るために、落葉を 30 cm 程積み冬支度をしました。

## 肥料

デッキの南面と家屋の北面及び東面、入口の車道が日当たりいいので、バーク(肥料)を敷き、ここに新たに珍しい花を来春植え込みます。



ユリの球根の冬支度



デッキ南面の花壇



家屋東面の庭

バークを敷いていたら、大きなカブトムシとカナブンの幼虫が各々20匹程発見！ 孫(小1)と指導先課長の娘さん(中2)が昆虫好きなので、成虫になってからプレゼントをします。



北側の庭(遠方に肥料)



家屋に通ずる車道(黒色が肥料)



カブトムシの幼虫

## その他

殆どの樹木が落葉し、庭が急に明るくなりました。遅れ気味の京都名庭の栂がやっと紅付きました。軽井沢は、栂の紅葉が綺麗ですが、中でもこの栂は群を抜き真っ赤で素晴らしく、血統の良さが表れているのでしょうか？ 造園業者が、紅葉に感動して実生を販売したいと申し出る有様です。

今年は、気候不順から秋に真っ赤な実を付けるチョウセンゴミシやガマズミが不作ですが、散歩でチョウセンゴミシを15房程見つけ、蜂蜜に漬けました。



京都名庭の栂



チョウセンゴミシの実

先日、知り合いからリンゴを頂いたので、お気に入りの湯船にリンゴを浮かべ、リンゴの香りと太陽の日差しを受けながら入浴をしました。春は、何度かバラ風呂で楽しみました。



リンゴ風呂/秋



バラ風呂/春

明日は、原種チューリップや水仙など約80球届くので、この植え込みで今年の庭仕事が完了します。明後日の4日は、室内の片付けや水拭き後、ソファ類をシートで覆い、業者の手で床暖房の低温度管理と外回りの水抜きを行い、11/5が今年最後の軽井沢になります。